

皮 膚

科目責任者 井 川 健
学年・学期 3 学年・1 学期

I. 前 文

皮膚は人体を覆い、生命に維持に不可欠な機能を備えた重要な臓器である。

対外保護作用、体温調節作用、知覚作用、分泌排泄作用など種々の生理作用を持っている。

湿疹群、蕁麻疹、紅斑症、紫斑病、血管炎、薬疹、水疱症、角化症、炎症性角化症、膠原病、母斑および母斑症、良性および悪性皮膚腫瘍、細菌・ウイルス・真菌感染症、性行為感染症など多岐にわたる皮膚疾患を、可能な限りわかりやすく講義したい。

II. 担当教員

教授	井 川 健	皮膚科学
准教授	鈴木 利 宏	皮膚科学
教授	林 周次郎	埼玉医療センター 皮膚科
講師	野 老 翔 雲	皮膚科学
助教	石 川 里 子	皮膚科学
非常勤講師	嶋 岡 弥 生	永田皮膚科医院
非常勤講師	木 村 有太子	順天堂大学 皮膚科
	塚 田 鏡 寿	新小山市市民病院 皮膚科

III. 一般学習目標

・アトピー性皮膚炎、膠原病、感染症、皮膚腫瘍、水疱症など代表的な皮膚疾患の発症機序、皮膚症状、診断、治療を理解する。

IV. 学修の到達目標

- 1) KOH 法、パッチテストなど基本的な皮膚科的診断法を説明できる。
- 2) 外用療法、PUVA 療法など主な皮膚科的治療を説明できる。
- 3) 紅斑、紫斑、丘疹など主は発疹を説明できる。
- 4) アトピー性皮膚炎、膠原病、白癬症など主な皮膚疾患の診断、治療を説明できる。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。))

2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション

6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	6	1	月	4	皮膚の構造と機能 発疹学, 診断学, 治療	井 川 健	1
2		1	月	5	毛嚢脂腺系疾患, ウイルス疾患	石 川 里 子	1
3		2	火	2	湿疹, 蕁麻疹, 紅斑症	井 川 健	1
4		2	火	3	薬疹, 紅皮症, 角化症, 炎症性角化症	井 川 健	1

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
5		2	火	4	母斑, 母斑症	塚 田 鏡 寿	1
6		2	火	5	物理化学的障害, 皮膚外科およびレーザー治療	鈴 木 利 宏	1
7		3	水	4	水疱症, 膿疱症, 色素異常症	野 老 翔 雲	1
8		3	水	5	紫斑, 血流障害, 血管炎	野 老 翔 雲	1
9		3	水	6	代謝異常, 形成異常, 肉芽腫	野 老 翔 雲	1
10		4	木	4	良性および悪性腫瘍, 細菌性皮膚疾患	嶋 岡 弥 生	1
11		4	木	5	ハンセン病, 動物寄生, STD, 皮膚結核	木 村 有太子	1
12		4	木	6	全身性エリテマトーデス, 皮膚筋炎	林 周次郎	1
13		4	木	7	強皮症, シェーグレン症候群, バーチエット病	林 周次郎	1

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

進級判定のための評価：学期末に皮膚科学的知識について，記述試験，客観試験（多肢選択方式）により行う。

以下のとおり成績評価する。（ ）内は評価の割合。

本試験（94%），事前課題（5%），出欠席（1%），追再試験は，試験のみとなっています。

なお，定期試験問題内の英語問題は「医学英語Ⅲ」の評価として集計される。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

- 1) 皮膚科学 上野賢一著 金芳堂 第7版 他

VIII. 質問への対応方法

随時，受け付けます。ただし，事前に秘書を通じてアポイントをとること。

問い合わせ先：皮膚科学講座研究室（臨床医学棟棟7階）月～金曜日 9：30～16：00

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	◎
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題について、間違いや誤解が多い点を随時解説します。

また随時質問を受けつけます。ただし、事前に秘書を通じてアポイントをとること。（問い合わせ先参照）

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（20分）：事前学習ページや資料を配信お知らせするので、必ず事前学習をして小テストを講義前までに実施する。

予習用の資料を配信するので、必ず予習すること。講義当日予習資料よりミニテストを行う。

事後学習（30分）：講義で配布した資料，講義内容，ノートの復習をすること。

XII. コアカリ記号・番号

PS-02-04：皮膚系（表2-3）

PS-02-04-01：皮膚系の構造と機能について基本的事項を理解している。

PS-02-04-02：皮膚系でみられる症候について理解している。

PS-02-04-03：皮膚系で行う検査方法について基本的事項を理解している。

PS-02-04-04：皮膚系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。

PS-02-04-05：皮膚系の疾患・病態について病因，疫学，症候，検査，診断，治療法を理解している。